

第 9 号議案 平成 30 年度 長崎市一般会計予算

< 目 次 >

2 款 総務費 1 項 総務管理費 22 目 世界遺産推進費

	〔 説明書 〕 〔 記載頁 〕
1 世界遺産推進費	
1 「明治日本の産業革命遺産」推進費	P 1 (P136~P137)
2 世界遺産観光客受入費	P 4 (P136~P137)
2 世界遺産登録推進費	
1 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」 登録推進費	P 14 (P136~P137)
3 【補助】世界遺産保存整備事業費	
1 「明治日本の産業革命遺産」	P 19 (P136~P137)
2 端島炭坑	P 22 (P136~P137) (P334~P335)
4 【単独】世界遺産保存整備事業費	
1 「明治日本の産業革命遺産」	P 27 (P136~P137)

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
136 ～ 137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	1-1	「明治日本の産業革命遺産」推進費	千円 33,185

1 概 要

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産を適切に保存管理するため、端島炭坑等の調査を実施するとともに、関係自治体と連携して周知啓発等を行い世界遺産価値の理解促進を進める。

2 事業内容

(1) 調査等

13,841 千円

ア 端島炭坑護岸整備工法案作成委託

端島炭坑の護岸の整備手法について国及び県と協議するため、護岸近辺の波高と波の周期を算定し、護岸の断面算定を行ったうえで、整備工法案（3案）の作成を委託するもの。

イ 高島炭鉱跡総括調査報告書作成

平成 25 年から平成 29 年に実施した「史跡 高島炭鉱跡」に関する各種調査を「総括調査報告書」として取りまとめ印刷製本するもの。

・部 数：150 部

・配布先：文化庁、県内市町図書館、研究機関など

ウ 高島炭鉱跡総括調査報告書編集・作成支援委託

イにおいて「総括調査報告書」として刊行するため編集・作成作業の支援を委託するもの。

エ その他（委託費、需用費、役務費）

(2) 周知啓発等

6,649 千円

ア 世界遺産周知用リーフレット（一般用・子供用）増刷

・部 数：一般用 10,000 部（カラー4 ページ）、子供用 10,000 部（カラー8 ページ）

・配布先：長崎駅、グラバー園、軍艦島資料館、高島石炭資料館等の観光施設、船会社、各地域センター等の公共施設及び各種イベント等

イ 広報ながさき折込印刷

「2つの世界遺産があるまち」の実現と2つの世界遺産の価値の周知を行うもの。

・部 数：162,000 部（2色4 ページ）

・折込時期：潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録後（10月号又は11月号）

ウ 道路標識等設置.....3ページ

来訪者を構成資産まで誘導する道路標識等を設置するもの。

・新規設置：5箇所、ロゴマークの追加：4箇所

エ 高島炭鉱ガイド用説明パネル製作

北溪井坑跡や端島炭坑の歴史や採炭システムを分かりやすく説明するため、ガイド用の説明パネル及びデータを製作するもの。

・作成枚数：70 枚

オ 来訪者調査（小菅修船場跡、高島炭鉱北溪井坑跡）

小菅修船場跡と北溪井坑跡の来訪者の現況や推移を把握するための調査を行うもの。

- ・ 2名×20日×2箇所

カ 端島（軍艦島）基金リーフレット増刷

端島（軍艦島）基金の周知のためリーフレットを増刷するもの。

- ・ 部数：10,000部（カラー2ページ）
- ・ 配布先：長崎駅、グラバー園、軍艦島資料館、高島石炭資料館等の観光施設、船会社、各地域センター等の公共施設及び各種イベント等

キ その他（役務費、使用賃借料）

(3) 「明治日本の産業革命遺産」世界遺産協議会負担金 2,552千円

関係自治体（8県11市）で構成する協議会が実施する各種事業に対し応分の負担を行うもの。

ア 主な事業

- ・ ガイド及び管理保全に係る人材育成
- ・ インタープリテーション（理解増進・情報発信）
- ・ 調査研究のための海外専門家の招聘

イ 総事業費 56,144千円

※負担割合

県市1/2ずつの負担とし、市負担については、11市の均等割りとする。

- ・ 県市の負担割合 県1/2、市1/2
- ・ 1県当りの負担割合 $56,144 \text{千円} \times 1/2 \times 1/8$ （8県均等割） = 3,509千円
- ・ 1市当りの負担割合 $56,144 \text{千円} \times 1/2 \times 1/11$ （11市均等割） = 2,552千円

(4) 事務費等 10,143千円

ア 高島炭鉱整備活用委員会開催費

高島炭鉱（高島、中ノ島、端島）の遺構整備に関する委員会開催3回（東京都）

イ その他（旅費、役務費、使用賃借料）

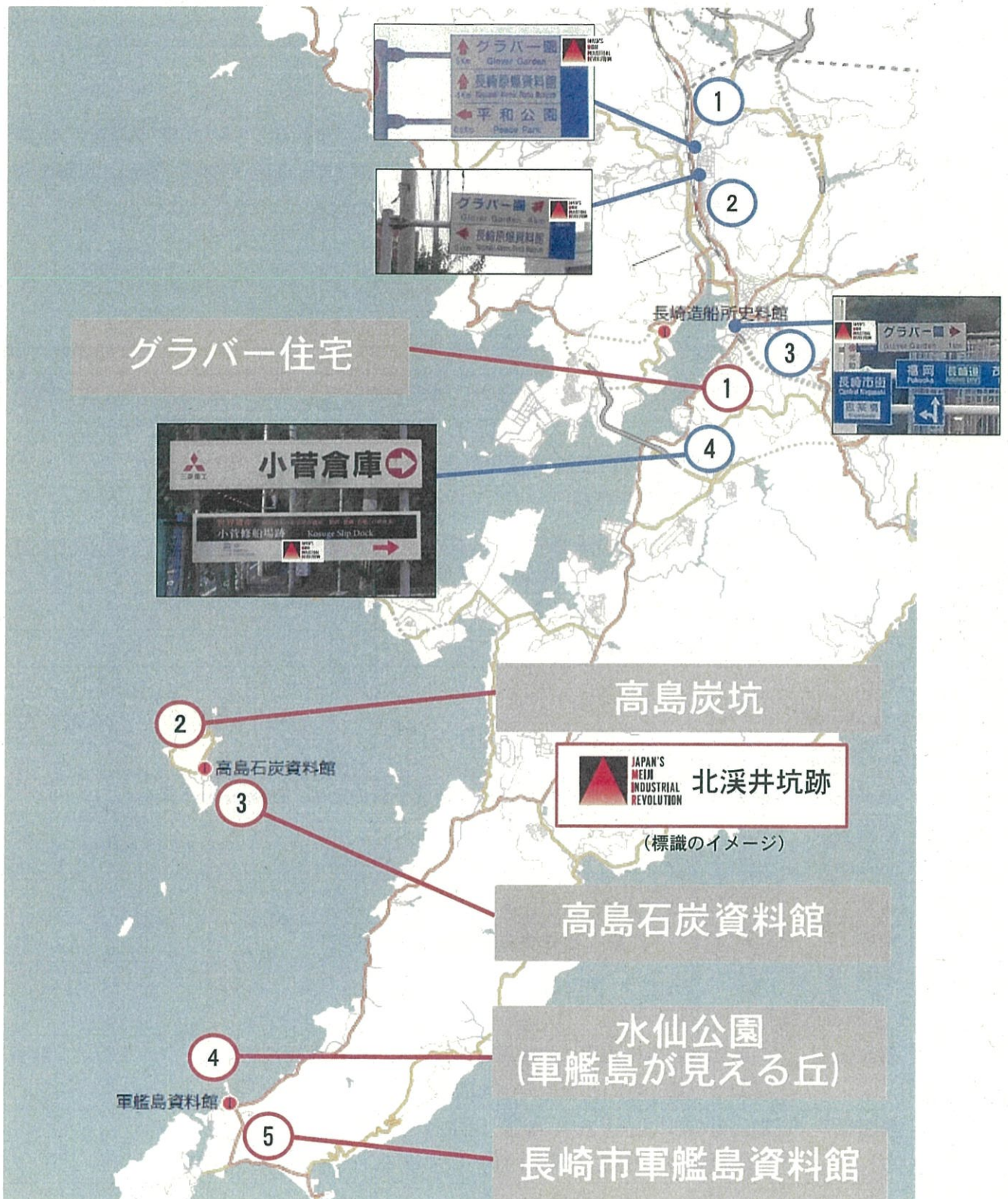
3 財源内訳

事業費	財源内訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
33,185	4,150	1,660	20,700	—	6,675

※過疎対策事業債 充当率100%

道路標識等設置予定箇所

(赤丸：新規設置箇所 計5箇所、青丸：ロゴマークの追加箇所 計4箇所)



予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
136 ～ 137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	1-2	世界遺産観光客受入費	千円 81,746

1 概要

平成 30 年度の世界遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」及び平成 27 年 7 月に世界遺産登録された「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」にかかる観光客受入態勢の整備を進め、満足度の向上を図る。

2 事業内容

(1) 世界遺産案内所運営 10,083 千円

事業概要	平成 27 年度より長崎駅かもめ広場に設置している世界遺産案内所では、構成資産の説明やアクセス等の案内、各種パンフレットの配布等を行っており、約 55,000 人（平成 29 年度見込み）が利用している。 ・案内業務委託料 7,169 千円 ・かもめ広場借上料等 2,914 千円	
運営体制	設置期間	平成 30 年 4 月～平成 31 年 3 月（年中無休）
	開設時間	8 時～16 時
	配置人員	常時 2 名

(2) 交通対策 44,722 千円

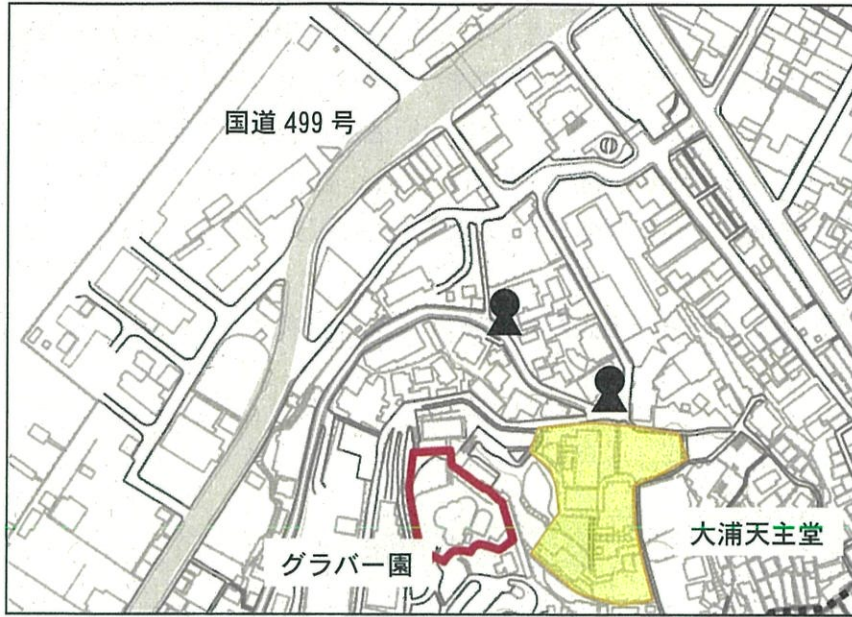
ア 誘導員配置（10,150 千円）

事業概要	構成資産周辺における安全確保や渋滞予防のため、誘導員を配置する。
配置人数	大浦天主堂周辺：2 名 出津エリア：3 名 大野エリア：2 名
期間	5 月連休～3 月末 ※年末年始除く土日・祝日




イ 誘導板整備（1,793 千円）

事業概要	外海地区駐車場周辺に臨時誘導板設置及び道路看板のリニューアルを行い、渋滞緩和及び観光客の利便性向上を図る。
設置数	道路看板リニューアル 3 基（国道 202 号上） 臨時誘導板 15 基（出津エリア：10 箇所、大野エリア：5 箇所）

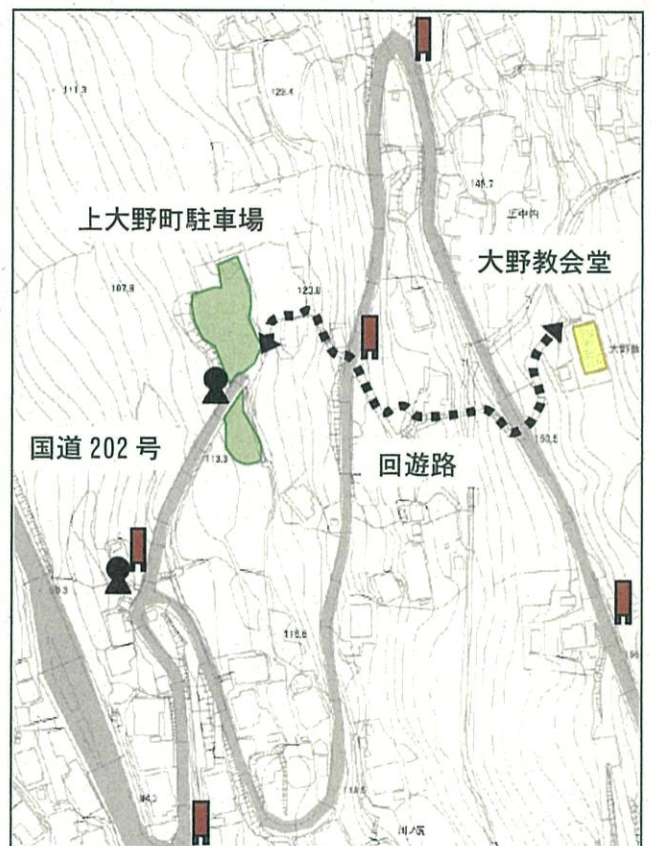
大浦天主堂周辺誘導員配置予定箇所



凡例

-  誘導員
-  臨時誘導板
-  道路看板

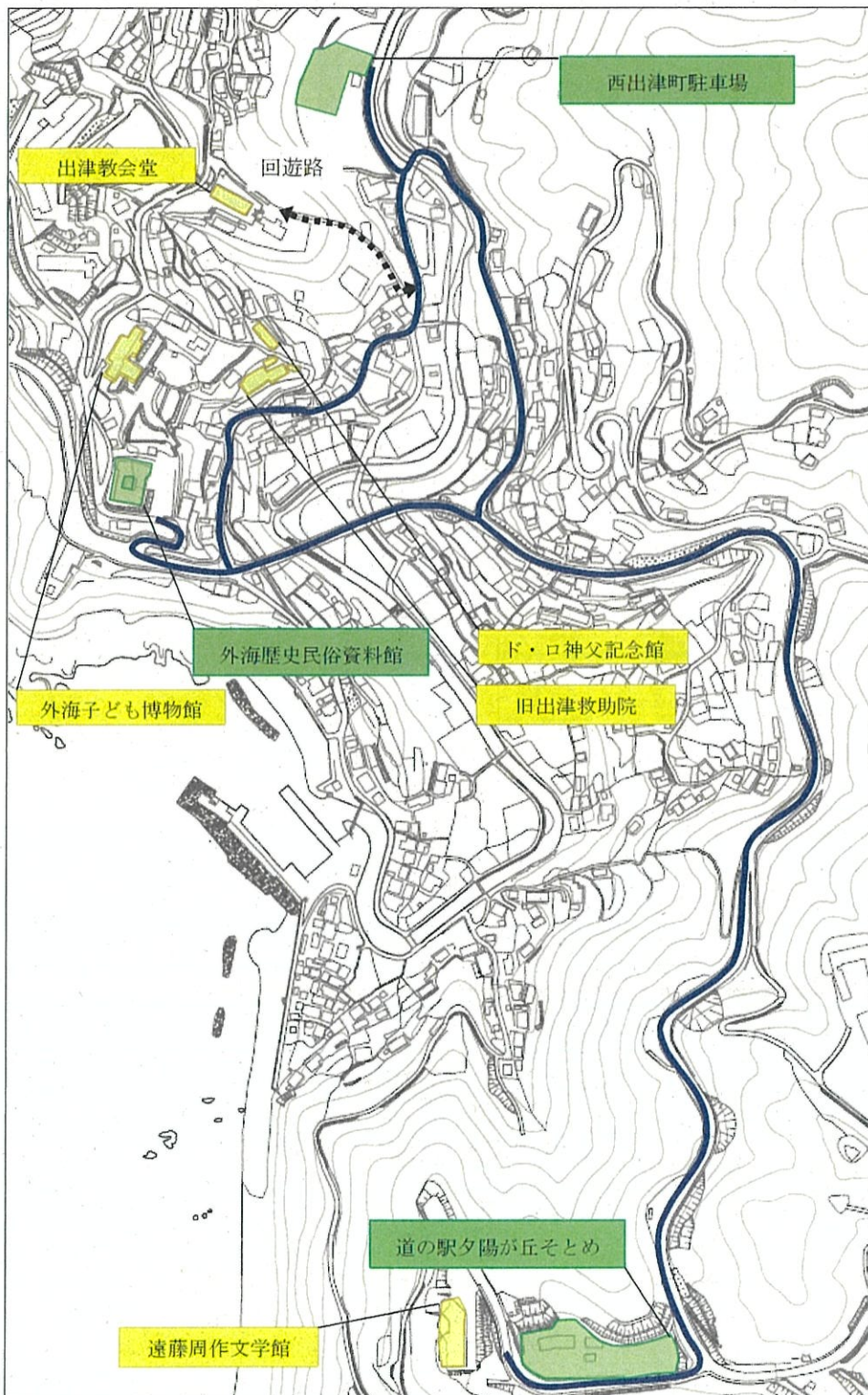
外海地区 誘導員配置及び誘導板設置予定箇所



ウ 外海地区シャトルバス・ジャンボタクシー運行 (8,632 千円)

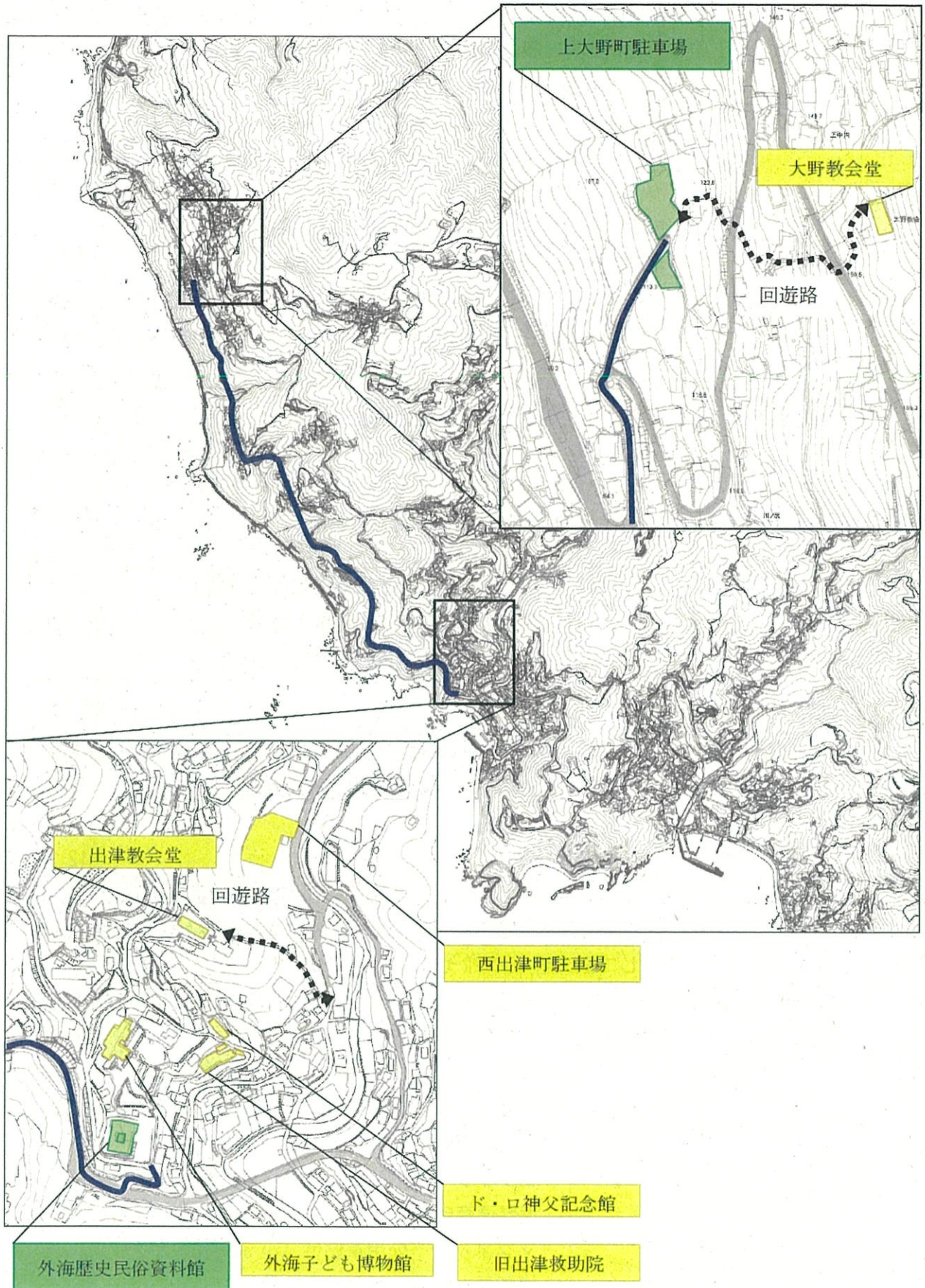
事業概要	西出津町駐車場及び上大野町駐車場周辺にかけては、急峻な地形や駐車可能台数の影響により高齢者や障害者等の周遊に支障をきたす恐れがあるため、シャトルバス・ジャンボタクシーを運行して回遊性と利便性の向上を図る。
実施方法	期間：7月中旬～3月末（80日間）※年末年始除く土日・祝日 区間：西出津町駐車場～外海歴史民俗資料館～道の駅夕陽が丘そとめ（シャトルバス） 外海歴史民俗資料館～上大野町駐車場（ジャンボタクシー） 利用料：無料

出津エリア運行ルート



凡例
 シャトルバス
 運行ルート

大野エリア運行ルート



凡例

ジャンボタクシー
運行ルート

エ 旧木型場の受入態勢整備 (24,147 千円)

事業概要	三菱重工業(株)長崎造船所関連施設のうち、旧木型場(長崎造船所史料館)について、企業活動の保護と観光客の利便性向上を目的としたシャトルバス運行による施設公開に対して補助を行う。
公開方法	<ul style="list-style-type: none"> ・平日に加え、土・日・祝日も開館。 ・入場は専用シャトルバス(長崎駅⇄史料館)又は観光ツアーバスによる乗入れのみとする(シャトルバス、ツアーバス 各1日6便) ・施設維持管理費として大人800円、小人400円を徴収する。
補助概要	補助金の交付先:三菱重工業(株)長崎造船所 シャトルバス運行に係る経費及び施設維持管理に係る経費に対して施設維持管理費収入を充当し、不足が生じた場合、その不足額を補助金として交付する。

【旧木型場観光客受入事業 平成30年度収支見込み】 (単位:千円)

収入		支出	
施設維持管理費収入…A	16,000	【シャトルバス運行に係る経費】 バス運行費…B	14,757
補助金	24,147	【施設維持管理に係る経費】 スタッフ人件費、清掃費、 光熱水費増額分等…C	25,390
合計	40,147	合計	40,147

※「施設維持管理費収入」を「シャトルバス運行に係る経費・施設維持管理に係る経費」に充て、不足する場合は補助金を充てる。(A<B+Cの場合のみ補助金を支出)

(3) 世界遺産周知

12,090 千円

事業概要	潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録決定時に看板やのぼり等の設置やWEB雑誌の活用等による情報発信を行い、産業革命遺産と併せて世界遺産があるまちとして観光客へのPRや市民への周知を行う。	
周知方法	周知啓発物 (7,190千円)	<ul style="list-style-type: none"> ・看板:ベルナード観光通り、浜市アーケード(各1箇所)市役所本館前三角柱 ・バナー:ベルナード観光通り・浜市アーケード(約100枚) ・のぼり・卓上のぼり・タペストリー:行政施設、宿泊施設等(約900枚) ・スタンプ:道の駅、世界遺産案内所等に設置 ・世界遺産デザインボールペン2,000本、手ぬぐい2,000枚 ・マグネット:公用車貼付(小340枚、大2枚) ・横断幕:大浦、外海地区に設置
	情報発信 (4,900千円)	長崎駅かもめ広場大型ビジョン、WEB旅行誌でのPR

(4) 世界遺産ポスター、パンフレット等印刷

3,252 千円

概要	潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録決定周知のポスター作成のほか、世界遺産としての価値や交通アクセス、地図等を網羅したガイドブック及びパンフレットの増刷等を行う。	
内容	ポスター	潜伏キリシタン関連遺産の世界遺産登録決定にあわせ、ポスターの作成及び配布 作成数：900 枚
	ガイドブック パンフレット	修正、増刷（潜伏キリシタン関連遺産版、産業革命遺産版） 印刷部数：日本語 10.5 万部、外国語版（4 カ国語）3 万部

(5) 教会守の配置

5,780 千円

概要	潜伏キリシタン関連遺産の構成資産内にある出津教会堂及び大野教会堂に教会守を配置し、見学マナーの伝達や迷惑行為の監視、質問対応等を行う。
配置数	1 日あたり各教会堂に教会守 1 名配置 年間 350 日

(6) ボランティアガイドの配置

1,554 千円

概要	小菅修船場跡及び北溪井坑跡周辺において、土・日・祝日を中心に地元自治会等による構成資産や観光案内を行う。
配置数	午前・午後各 2 名（117 日間）

(7) その他事業

4,265 千円

構成資産周辺調査 (500 千円)	小菅修船場跡、高島炭坑（北溪井坑跡）、出津教会堂及び大野教会堂の来訪者数を調査し、現状把握と受入態勢整備の基礎資料とする。 調査予定期間：平成 30 年 11 月頃
トイレ維持管理等 (2,991 千円)	西出津町及び上大野町駐車場内トイレの維持管理を行う。また、小菅修船場跡のトイレについては付近の公民館を借上げて対応する。 ・維持管理業務委託料 2,415 千円 ・光熱水費、借上料、汲み取り手数料等 576 千円
駐車場維持管理等 (638 千円)	出津及び大野エリア駐車場の維持管理を行う。 ・駐車場清掃謝礼 616 千円 ・駐車場清掃消耗品等 22 千円
事務費 (136 千円)	・旅費等 127 千円 ・エアサイネージ電気料 9 千円

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金※1	県支出金※2	地方債※3	その他	一般財源※4
千円	千円	千円	千円	千円	千円
81,746	18,610	8,093	12,900	—	42,143

※1…地方創生推進交付金

※2…21世紀まちづくり推進総合補助金

※3…過疎対策事業債（充当率100%）

※4…一般財源のうち、18,610千円については、「財政調整基金」を充当する。

4 事業実施の必要性とその効果

(1) 必要性

潜伏キリシタン関連遺産が世界遺産に登録された場合、来訪者の大幅な増加が見込まれる。明治日本の産業革命遺産を含め、世界遺産を活かして交流人口の拡大・地域活性化を図るために、観光客受入態勢を充実させる必要がある。

(2) 効果

世界遺産の価値や観光に関する情報提供、便益施設の整備により、観光客の満足度向上及びリピーターの確保に繋がることが期待される。

(参考) 「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」事業一覧

資産名	大浦天主堂	外海の出津集落 (出津教会堂)	外海の大野集落 (大野教会堂)
1 来訪者数の現状 ※H29年度は見込	H26年度 555,395人 H27年度 588,210人 H28年度 446,957人 H29年度 514,000人	H26年度 15,062人 H27年度 21,367人 H28年度 25,602人 H29年度 31,000人	H26年度 1,800人 H27年度 3,715人 H28年度 4,669人 H29年度 5,600人
2 公開等の対応	①公開(年中無休) ②周辺に誘導員配置(土日祝、30年度)	①公開(第1・3日曜 9:00~10:00見学不可) ②事前連絡要 ③誘導員配置(土日祝、30年度)	①公開 ※内部見学不可 ②事前連絡要 ③誘導員配置(土日祝、30年度)
3 現地案内	①自由観覧 ②エアサイネージ	①教会守配置 ②エアサイネージ	①教会守配置 ②エアサイネージ
4 説明板・誘導板等	-	-	-
5 トイレ	大浦天主堂内トイレ	西出津町駐車場	上大野町駐車場
6 駐車場	松が枝、常盤界限駐車場等	西出津町駐車場	上大野町駐車場 ※中型以上のバス不可
7 アクセス	公共交通機関、自動車・バス	公共交通機関、自動車・バス	公共交通機関、自動車、マイクロバス
8 遊歩道	-	西出津町駐車場~教会間	上大野町駐車場~教会間
9 その他	①長崎市世界遺産案内所設置(長崎駅かもめ広場) ②大波止ターミナル情報スペースのリニューアル ③ガイドブック、パンフレットの作成 ④構成資産来場者数調査		

(参考) 「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」事業一覧

資産名	非稼働資産		
	端島炭坑 (軍艦島)	旧グラバー住宅 (グラバー園)	高島炭坑 (北溪井坑跡)
1 来訪者数の現状 ※H29年度は見込	H26年度 191,881人 H27年度 286,936人 H28年度 265,555人 H29年度 294,323人	H26年度 1,035,796人 H27年度 1,221,243人 H28年度 987,822人 H29年度 1,010,989人	H26年度 800人 H27年度 1,512人 H28年度 2,933人 H29年度 未計測
2 公開等の対応	①船会社5社によるツアー ②予約制	①公開(年中無休) ②当日入園可 ③園周辺に誘導員配置(土日祝)	①公開(常時) ②随時見学
3 現地案内	①ガイドによる案内(船会社手配)	①園内ツアー(土日祝) ②エアサイネージ ③世界遺産紹介(旧三菱第2ドックハウス) ※映像紹介、パネル展等	①エアサイネージ ②地元団体による案内 ③高島石炭資料館(北溪井坑跡コーナー設置) ④展望台
4 説明板・誘導板等	①世界遺産登録記念銘設置	①説明板:1基リニューアル ②世界遺産登録記念銘設置	①説明板:1基リニューアル ②世界遺産登録記念銘設置 ③誘導板:高島港～北溪井坑跡間 ④史跡地ジオラマ、遺構説明陶板タイル・説明板製作
5 トイレ	船内	園内	高島公園トイレ
6 駐車場	大波止、元船、常盤界限駐車場等	松が枝駐車場等	—
7 アクセス	大波止ターミナル、元船、常盤棧橋、野母崎発	公共交通機関、自動車・バス可	島内循環バス、徒歩、レンタサイクル(電動アシスト自転車)、レンタカー(電気自動車)
8 その他	①長崎市世界遺産案内所設置(長崎駅かもめ広場) ②大波止ターミナル世界遺産展示コーナーの設置 ③ガイドブック、パンフレットの作成 ④バナー、看板設置、マグネット等製作(27年度) ⑤市民モニターツアー実施(27年度) ⑥構成資産来場者数調査		

資産名	非稼働資産	稼働資産	
	小菅修船場跡	旧木型場（三菱史料館）	ジャイアント・カンパニー・クレーン 占勝閣、第三船渠
1 来訪者数の現状 ※H29年度は見込	H26年度 987人 H27年度 13,345人 H28年度 6,846人 H29年度 4,500人	H26年度 24,140人 H27年度 37,404人 H28年度 29,912人 H29年度 26,000人	非公開
2 公開等の対応	①公開（常時） ②随時見学 ③誘導員配置（土日祝、 29年度まで）	①平日・土日祝公開 ②予約制シャトルバス、 団体バスによる見学	非公開
3 現地案内	①エアサイネージ ②地元自治会等による 案内	①史料館ガイド案内 ②エアサイネージ	
4 説明板・誘導板等	①説明板：1基リニューアル ②世界遺産登録記念銘 設置 ③誘導板設置・進入禁 止・周知看板設置	①展示品・説明⇒世界遺 産説明コーナー整備予 定（三菱実施。国の整 備指針決定後） ②世界遺産登録記念銘設 置	①史料館内に世界遺産説 明コーナー整備予定（三 菱実施。国の整備指針決 定後） ②世界遺産登録記念銘設 置
5 トイレ	仮設トイレ1基設置	史料館内	—
6 駐車場	専用駐車場なし。 ※公共交通機関利用の 周知	三菱史料館前（バス2台）	—
7 アクセス	路線バス「小菅」下車。	予約制シャトルバス 長崎駅⇔史料館	—
8 その他	①長崎市世界遺産案内所設置（長崎駅かもめ広場） ②大波止ターミナル世界遺産展示コーナーの設置 ③ガイドブック、パンフレットの作成 ④バナー、看板設置、マグネット等製作（27年度） ⑤市民モニターツアー実施（27年度） ⑥構成資産来場者数調査		

予 算 説 明 書					事 業 名	予 算 額
ページ	款	項	目	番号		
136 ～ 137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	2-1	「長崎と天草地方の潜伏キリシタン 関連遺産」登録推進費	千円 44,042

1 概 要

平成 30 年の世界遺産登録を目指す「長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産」の構成資産及び重要文化的景観「長崎市外海の石積集落景観」の重要な構成要素を適切に保存管理するため、調査や整備を行う。また、説明板等の設置による来訪者受入態勢の充実や記念事業等の実施により市民への周知啓発を図る。

2 事業内容

(1) 構成資産等の調査・整備

17,324 千円

ア 構成資産の記録保存調査

- ・モニタリングのための測量(6ヶ所)、図面作成(6ヶ所)、カルテ作成(19ヶ所)

イ 大平作業場跡整備事業……………16 ページ (1)イ、17 ページ

- ・所有者が実施する重要文化的景観の重要な構成要素の整備事業に対する補助
- ・補助内容:実施設計、地盤等の調査、石積み等周辺環境の調査等
- ・事業費×補助率 82.5%(国 50%, 県 20%, 市 30%)、所有者負担 17.5%

ウ 石積み(ネリベイ)建物修理……………16 ページ (1)ウ

- ・所有者が実施する重要文化的景観の重要な構成要素の修理事業に対する補助(2件)
- ・補助内容:屋根葺き替え・石積み積み直し、雨水対策処理等
- ・事業費×補助率 82.5%(国 50%, 県 20%, 市 30%)、所有者負担 17.5%

エ 構成資産環境整備

- ・構成資産の価値に貢献する要素(10箇所)の草刈等

(2) 来訪者受入態勢の充実

11,176 千円

ア 世界遺産登録記念銘板の設置……………18 ページ (2)ア

- ・長崎県作成の潜伏キリシタンの表示体を用いて記念銘板の設置(3基、場所:構成資産内)

イ 世界遺産登録説明板の設置……………18 ページ (2)イ

- ・世界遺産価値の説明板の設置(3基、場所:駐車場・境内地)
- ・構成資産の価値に貢献する要素の説明板の設置(5基、場所:墓地・屋敷跡・境内地)

ウ 構成資産誘導サインの設置……………18 ページ (2)ウ

- ・既存サインに潜伏キリシタンの統一マーク追加(歩行者用4基、自動車用1基、場所:大浦地区)

エ 構成資産詳細展示……………16 ページ (2)エ

- ・外海歴史民俗資料館 2 階の潜伏キリシタン情報コーナーに外海の出津・大野集落の展示追加(2枚、サイズ 1,800×1,400mm、内容:構成資産の価値・範囲、要素の価値説明等)
- ・外壁に潜伏キリシタンのサテライト施設案内板の設置

(3) 世界遺産登録記念事業の実施

6,227 千円

ア ユネスコ世界遺産委員会出席

- ・開催国(都市):バーレーン(マナーマ)、出席者:5名(市長、議長、随員2名、通訳1名)

イ 世界遺産委員会パブリックビューイング開催……………16 ページ (3)イ

- ・会場: 遠藤周作文学館(100 名程度)
- ・内容: 世界遺産委員会中継、登録決定祝賀セレモニー、記念撮影等

ウ 世界遺産登録記念シンポジウム開催

- ・会場: メルカつきまちホール(300 名程度)
- ・内容: 潜伏キリシタンの概要説明、基調講演(世界遺産と文化的景観(仮)、文化庁担当官等)、
外海・大浦地区の取組事例紹介(3 事例)

(4) 周知啓発 2,200 千円

ア 世界遺産登録記念グッズ作成

- ・登録記念手ぬぐい(1,000 枚)、登録後のロゴデザインのピンバッチ(1,000 個)

イ 広報ながさき折込印刷

- ・「2 つの世界遺産があるまち」の実現と 2 つの世界遺産の価値の周知を行うもの。
- ・部数: 162,000 部(2 色 4 ページ)
- ・折込時期: 世界遺産登録後(10 月号又は 11 月号)

ウ 重要文化的景観「外海の石積集落景観」パンフレット・回遊マップ増刷

- ・部数: 各 10,000 部 パンフレット: 2 種類(カラー6 ページ、カラー4 ページ)
回遊マップ: 4 種類(各カラー4 ページ)
- ・配布先: 長崎駅、道の駅夕陽が丘そとめ、外海地域センター、外海歴史民俗資料館、出津教会堂、大野教会堂等

(5) 世界遺産登録推進事業県負担金 5,106 千円

関係自治体(2 県 6 市 2 町)が共同で実施する事業について、長崎県に対し応分の負担を行う。

ア 広報啓発事業(パンフレット作成、ポスター作成、のぼり作成、登録啓発グッズ作成)

- ・事業費(13,645 千円)10,096 千円 $\times 1/2 \times 27.2\% + 3,549$ 千円 $\times 1/2 \times 30\% \doteq 1,903$ 千円

イ 勧告への対応事業(専門家招聘、情報収集等)

- ・事業費(23,544 千円) $23,544$ 千円 $\times 1/2 \times 27.2\% \doteq 3,203$ 千円

※負担割合

事業費を県市 1/2 ずつの負担とし、市負担については、各市の資産数を全体の資産数で按分する。

ただし、広報等長崎県に限定する事業費については、熊本県、天草市を除いた負担割合とする。

$$3 \text{ 資産(長崎市)} \div 11 \text{ 資産(全体)} \doteq 27.2\%$$

$$3 \text{ 資産(長崎市)} \div 10 \text{ 資産(長崎県内資産)} \doteq 30\% \text{ (長崎県に限定する事業の負担割合)}$$

(6) 事務費等 2,009 千円

ア 外海の石積集落景観整備活用委員会開催経費、開催 2 回

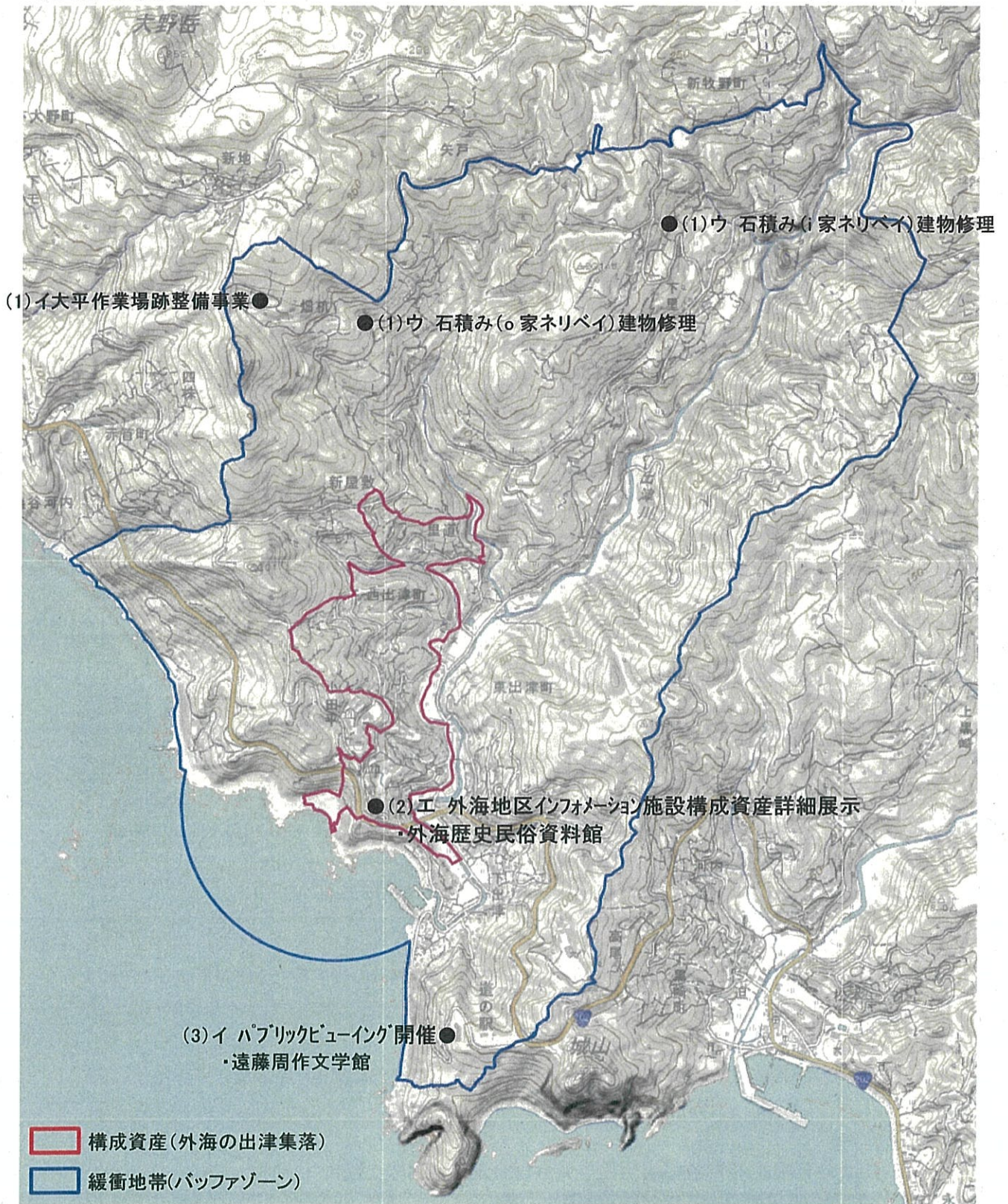
イ その他(使用賃借料、需用費、旅費)

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円	千円	千円	千円	千円	千円
44,042	7,060	4,474	18,000	—	14,508

※過疎対策事業債 充当率 100%

【事業位置図】



イ 大平作業場跡整備事業



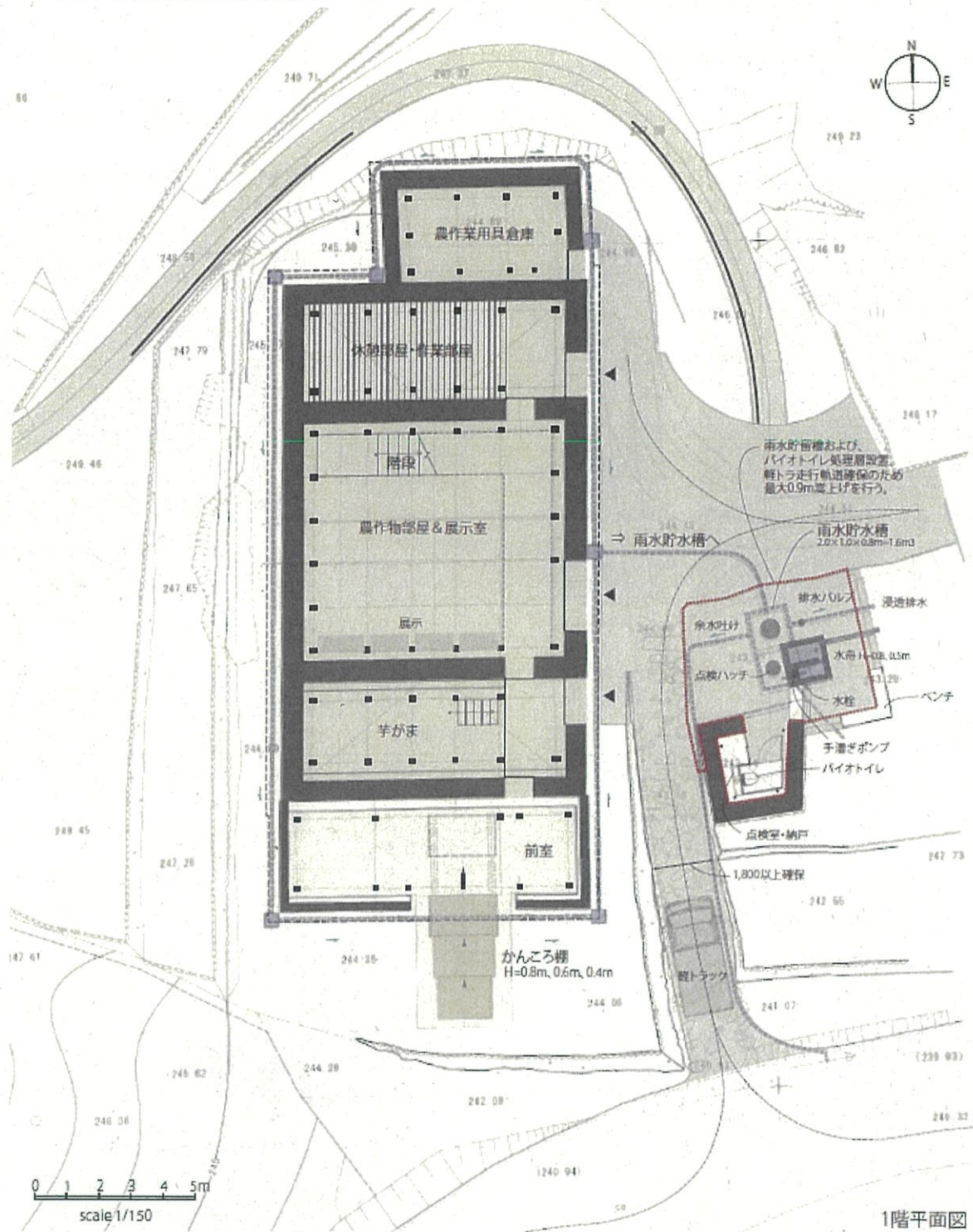
ウ 石積み(o家ネリベイ)建物修理



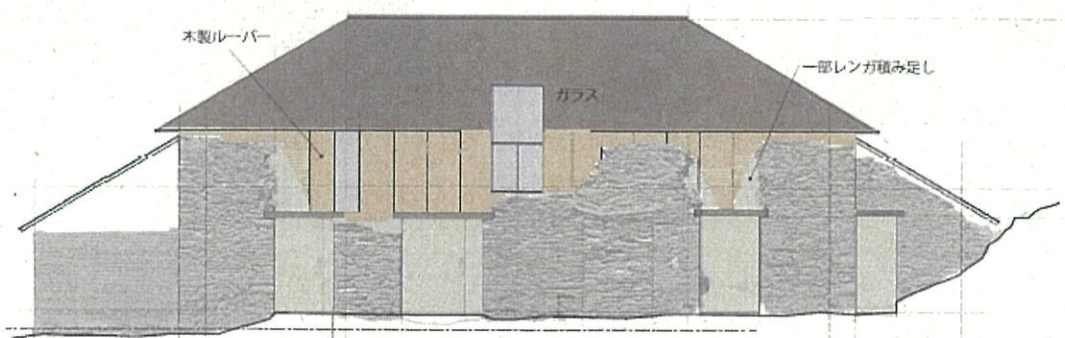
ウ 石積み(i家ネリベイ)建物



(1)構成資産等の調査・整備
イ 大平作業場跡整備事業イメージ



1階平面図



覆い屋壁面仕様検討立面図

(2) 来訪者受入態勢の充実

ア・イ 世界遺産登録記念銘板・説明板の設置

【既に世界遺産登録された資産の設置例】

■ 明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業



■ 富士山—信仰の対象と芸術の源泉



■ 石見銀山遺跡とその文化的景観



【設置場所(案)】

構成資産	登録記念銘板	登録説明板	要素説明板
大浦天主堂	境内地内	境内地内	—
外海の出津集落	旧出津救助院から出津教会堂に向う歩行者ルート	西出津町駐車場	墓地、屋敷跡
外海の大野集落	上大野駐車場	上大野駐車場	神社

ウ 構成資産誘導サインの設置

① 歩行者用



【設置場所】

- ・長崎路面電車「大浦天主堂下」付近
- ・出島有料道路出口
- ・長崎路面電車「大浦天主堂下」「石橋」の間
- ・べっ甲工芸館前

② 自動車用



【設置場所】

- ・長崎路面電車「大浦天主堂下」付近



長崎と天草地方の潜伏キリシタン関連遺産

※現在の潜伏キリシタンのマークをベースに加工した統一マークを既存サインに追加

予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
136 ～ 137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	3-1	【補助】世界遺産保存整備事業費 「明治日本の産業革命遺産」	千円 140,000

1 概要

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の1つである端島炭坑において、緊急的に整備が必要な居住施設の保存整備を行うもの。

2 事業内容

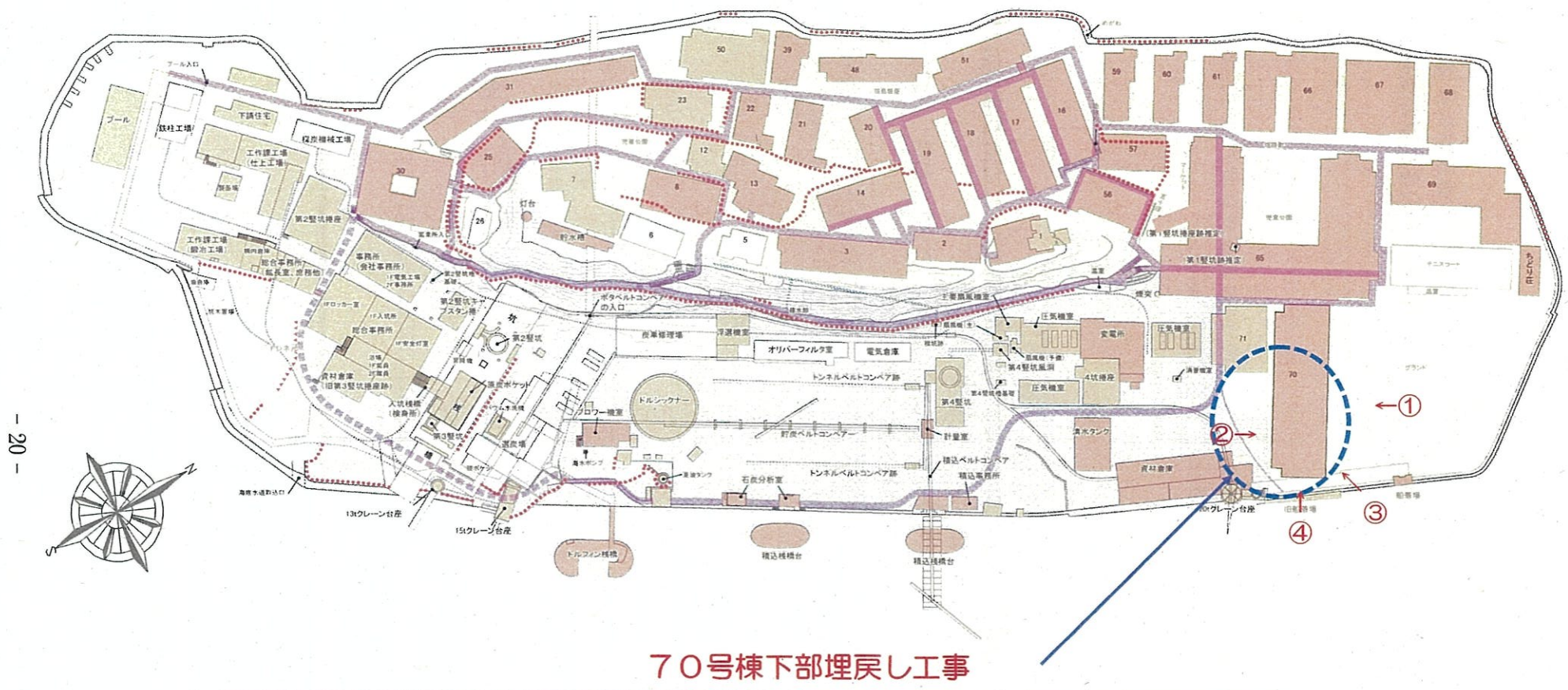
70号棟下部埋戻し工事 …… 20、21 ページ資料 1 140,000 千円

- ・平成3年の台風の影響で70号棟前の護岸が決壊したことにより、土砂が吸い出され空洞化している70号棟（端島小中学校）下部の埋め戻しを行う。
- ・島内にモルタルに気泡を混入したエアモルタルを作るプラントを設置し、建物へ配管により圧送し、空洞部へ充填する。（埋め戻し量：2,440 m³）
- ・空洞部には、護岸の下から海水が流入している箇所があり、その箇所には水中分離をしない可塑性のエアモルタルを充填する。
- ・施工時期 5月中旬～9月末

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 140,000	千円 70,000	千円 28,000	千円 42,000	千円 -	千円 -

※過疎対策事業債 充当率 100%



- 20 -



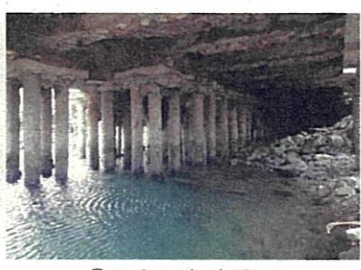
①70号棟全景



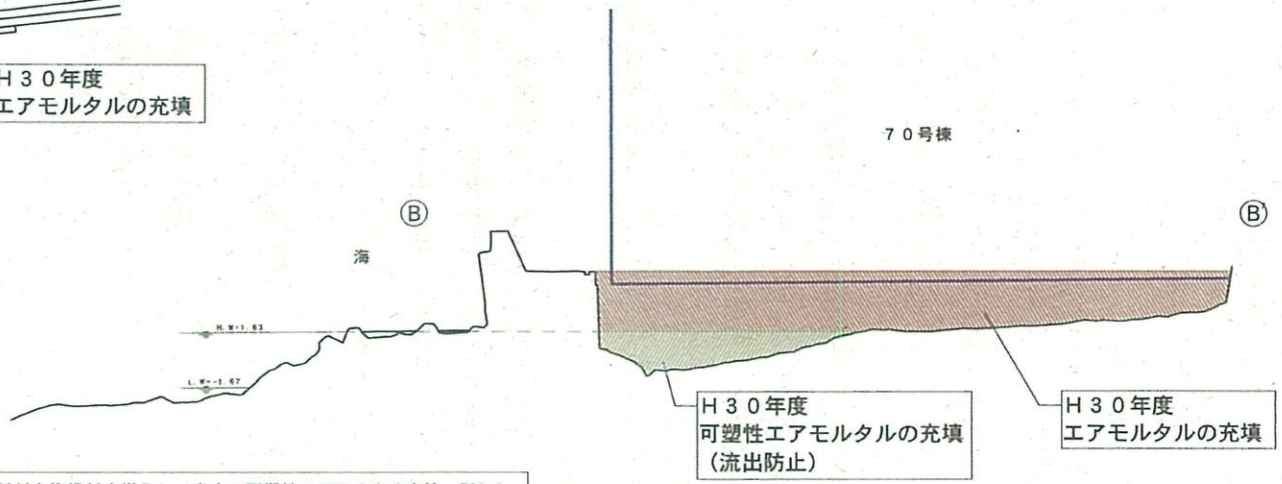
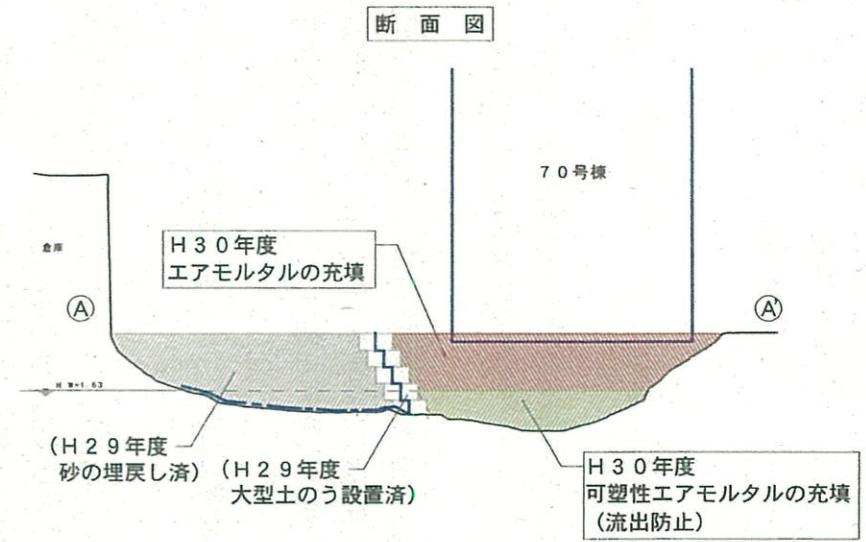
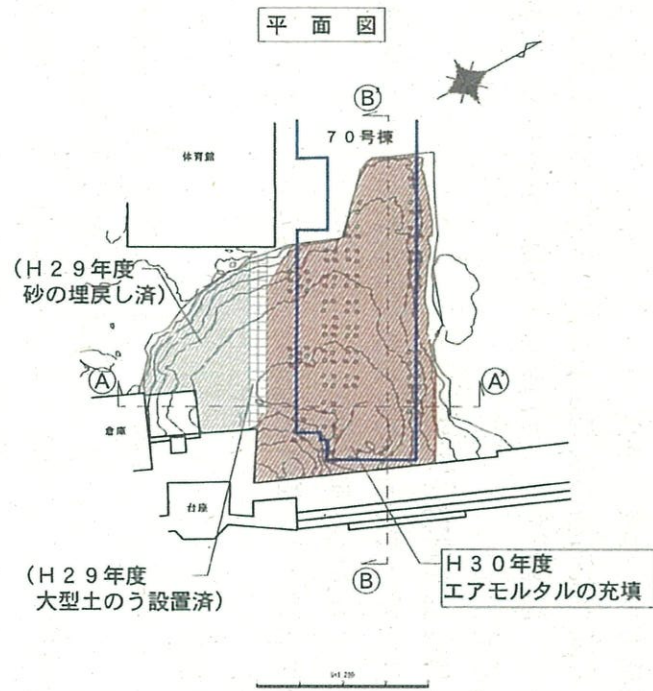
②平成29年度に埋戻し
実施済



③平成30年度埋戻し
予定



④平成30年度埋戻し
予定



H30年度	可塑性エアモルタルの充填・・・台船で材料と資機材を搬入し、島内で可塑性エアモルタル充填 500m3
	エアモルタルの充填・・・台船で材料と資機材を搬入し、島内でエアモルタル充填 1,940m3

継続費		期 間	総事業費
第2表 ページ	事 項		
9	世界遺産保存整備事業 端島炭坑	平成30年度 ～平成39年度	千円 2,507,400

1 継続費設定の目的

「明治日本の産業革命遺産」の構成資産の一つである「端島炭坑」は、世界遺産及び国指定史跡として将来にわたり適切に保存管理していく必要がある。

そのため、整備の方針を定めた「史跡高島炭鉱跡整備基本計画及び高島炭坑 端島炭坑修復・公開活用計画」（以下、「基本計画」という。）に従い、国の補助事業として整備を行なうこととしている。

基本計画では、端島炭坑の構成要素である「護岸遺構」「擁壁遺構」「生産施設遺構」「居住施設遺構」を対象として、平成30年度から10年毎の3段階の30年間にわたって優先順位をつけて整備を行い、今後の進捗状況や財政状況、研究成果等を踏まえ10年ごとに計画を見直すこととしている。

そこで、最初の10年間で予定している整備事業費について、継続費を設定しようとするもの。

2 事業内容

(1) 10年間の事業について <予算額：2,507,400千円> ……25、26ページ資料2、3

平成30～39年度の10年間で、主に次のとおり事業を実施する。

なお、護岸遺構の整備スキームについては国や県と協議中であり、協議が整い次第、継続費として追加計上する。

対象	事業内容
擁壁遺構	現時点で損傷があまり見られないことから、劣化状況のモニタリングを行う。 <ul style="list-style-type: none"> ・石積カルテ作成（H30） 定期的に石積の状況をモニタリングしていく上での起点となるカルテを作成する。カルテの内容は、外形寸法、変位、破損、劣化の状況など。 ・石積変位計測調査（H37） 計測機器を使用した変位調査を概ね6年ごとに行う。なお、目視による劣化調査は毎年行う。
生産施設遺構	世界遺産価値を示す遺構を最優先し、次に劣化が進んでいる遺構を補修する。 <各施設の事業> <ul style="list-style-type: none"> ・第3 竪坑捲座跡：基本設計（H31）、実施設計（H32）、工事（H33） ※調査はH29年度に実施済 ・入坑栈橋：調査（H32）、基本設計（H33）、実施設計（H34）、工事（H35） ・貯炭ベルトコンベア：調査（H33）、基本設計（H34）、実施設計（H35）、工事（H36）

	<ul style="list-style-type: none"> ・ドルシクナー : 調査 (H34)、基本設計 (H35)、実施設計 (H36)、工事 (H37) ・第4 豎坑捲座跡 : 調査 (H35)、基本設計 (H36)、実施設計 (H37)、工事 (H38) ・第4 豎坑、櫓基礎 : 調査 (H36)、基本設計 (H37)、実施設計 (H38)、工事 (H39) ・積込コンベア、1 号棟 : 調査 (H37)、基本設計 (H38)、実施設計 (H39) ・変電所 : 調査 (H38)、基本設計 (H39) ・圧気機室、主要扇風機室、第4 豎坑風洞 : 調査 (H39) <p>※1 調査では、構造物の現況を把握するために、破損・劣化状況など詳細調査を行う。 内容：①測量、②破損調査、③図面作成、④躯体の物理的試験、⑤構造図作成</p> <p>※2 基本設計では、先の調査結果に基づき現況の構造解析を行い、構造物の補修・補強方法の検討・選定をする。 内容：①構造解析、②補修・補強方法の検討、③図面作成、④概算工事費算定</p> <p>※3 実施設計では、基本設計に基づき、工事に向けた設計・積算を行う。 内容：①詳細図面作成、②数量計算、③工事費算定</p>
居住施設遺構	3号棟の補修・補強を行う。 調査 (H36)、基本設計 (H37)、実施設計 (H38)、工事 (H39～)
その他	<p>経年劣化等による建物の変化を計測するための3D計測や定点カメラ観測などを行なう。</p> <ul style="list-style-type: none"> ・定点カメラ観測 (毎年) 経年劣化等による建物の変化を映像による記録保存を行う。 ・樹木等伐採 (毎年) 遺構に影響を及ぼす樹木等の伐採を行う。 ・3D計測 (H31、37) 概ね6年ごとに経年劣化等による建物の変化を記録するため、島全体について3D計測する。 ・工事前通路整備 (H36～38) 居住施設の工事のために資材搬入用の通路を整備する。 ・劣化進行調査等 (H32、33、36～38) 居住施設の劣化の進行状況を把握するための調査委託や整備基本計画の見直しを行う。

(2) 平成30年度の事業について〈予算額：7,400千円〉……………25、26ページ資料2、3

対象	事業内容
擁壁遺構	端島炭坑石積カルテ作成
その他	定点カメラ観測、樹木等伐採

3 継続費の内訳

単位：千円

事業年度	事業費	内 訳			
		擁壁遺構	生産施設遺構	居住施設遺構	その他
平成 30 年度	7,400	6,000	—	—	1,400
平成 31 年度	53,700	—	16,300	—	37,400
平成 32 年度	41,500	—	36,100	—	5,400
平成 33 年度	203,300	—	197,909	—	5,391
平成 34 年度	53,000	—	51,600	—	1,400
平成 35 年度	251,700	—	250,342	—	1,358
平成 36 年度	614,600	—	462,375	139,400	12,825
平成 37 年度	345,800	2,000	202,371	42,900	98,529
平成 38 年度	351,200	—	245,249	42,300	63,651
平成 39 年度	585,200	—	386,229	197,661	1,310
総事業費	2,507,400	8,000	1,848,475	422,261	228,664

※ 平成 31 年～39 年度については予定金額である。

4 財源内訳

単位：千円

事業年度	事業費	財 源 内 訳				
		国庫支出金 ※ 1	県支出金 ※ 2	地方債 ※ 3	その他	一般財源
平成 30 年度	7,400	3,000	1,200	3,200	—	—
平成 31 年度	53,700	25,700	10,280	17,700	—	20
平成 32 年度	41,500	18,250	7,300	15,900	—	50
平成 33 年度	203,300	99,154	39,661	48,300	—	16,185
平成 34 年度	53,000	26,000	10,400	12,400	—	4,200
平成 35 年度	251,700	125,371	50,148	57,100	—	19,081
平成 36 年度	614,600	304,837	121,935	140,700	—	47,128
平成 37 年度	345,800	170,435	68,174	80,200	—	26,991
平成 38 年度	351,200	175,124	70,049	79,500	—	26,527
平成 39 年度	585,200	292,145	116,858	132,000	—	44,197
計	2,507,400	1,240,016	496,005	587,000	—	184,379

※ 1…国宝重要文化財等保存整備費補助金 補助率 1 / 2

※ 2…指定文化財保存整備事業補助金 補助率 1 / 5

※ 3…平成 30 年～32 年度 過疎対策事業債 充当率 100%

平成 33 年～39 年度 一般単独事業債 充当率 75%



【H30】石積カルテ作成
【H37】石積変位計測調査



【H30~】定点カメラによる資産のモニタリング調査

【H36~】3号棟: 景観形成に貢献しかつ代表的な居住施設遺構であり劣化度から補修の延命効果を見込む

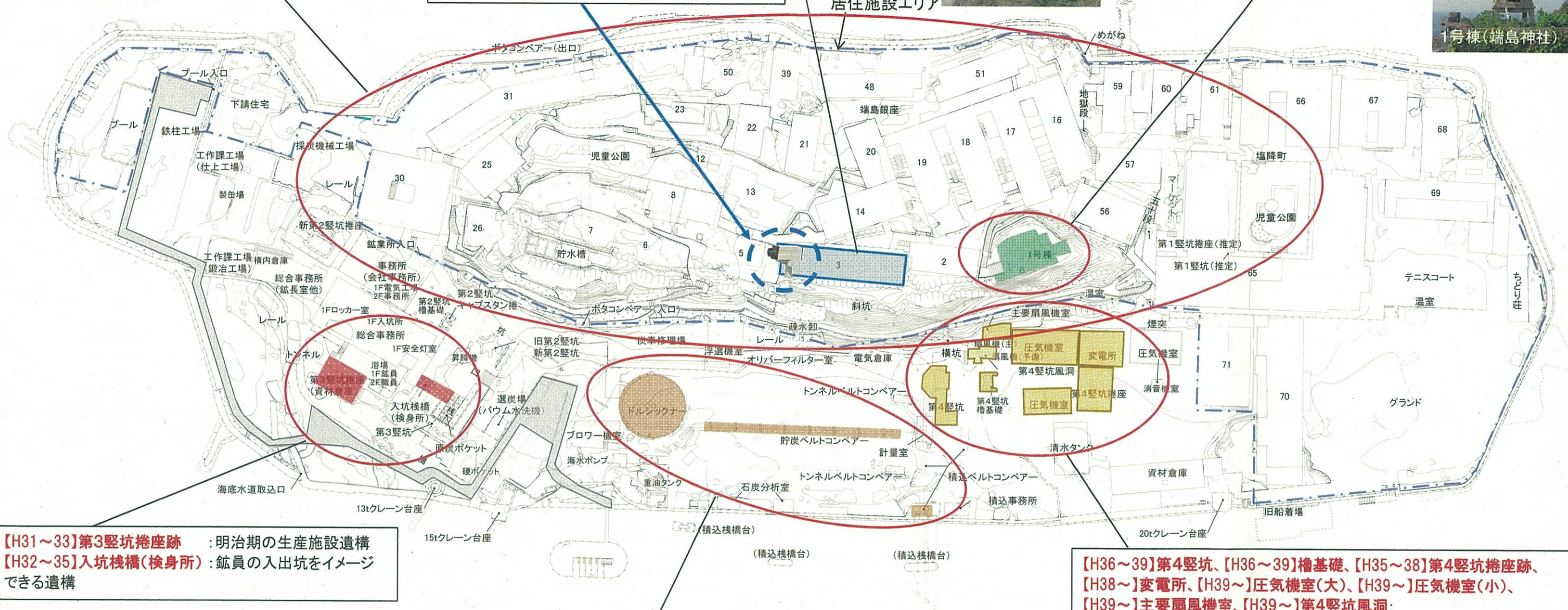


3号棟

【H37~】1号棟: 労使協調で作業の安全を祈願した施設であり産業景観形成にも貢献している遺構



1号棟(端島神社)



【H31~33】第3堅坑捲座跡 : 明治期の生産施設遺構
【H32~35】入坑棧橋(検身所) : 鉱員の入出坑をイメージできる遺構



第3堅坑捲座跡



入坑棧橋(検身所)

【H34~37】ドルシクナー、【H33~36】貯炭ベルトコンベア、【H37~】積込みコンベア: 選炭、貯炭、積込という石炭運搬の流れが理解できる遺構



ドルシクナー



貯炭ベルトコンベア

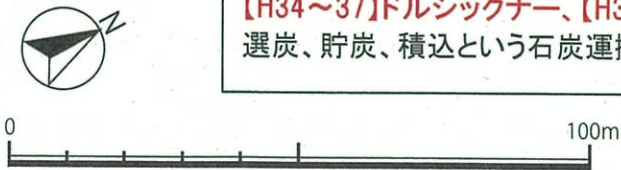


積込みコンベア

【H36~39】第4堅坑、【H36~39】櫓基礎、【H35~38】第4堅坑捲座跡、【H38~】変電所、【H39~】圧気機室(大)、【H39~】圧気機室(小)、【H39~】主要扇風機室、【H39~】第4堅坑風洞: 地上部における石炭の採掘システムが理解できる遺構 (IT技術を活用した理解促進計画を検討)



変電所 第4堅坑捲座跡
圧気機室(大) 圧気機室(小)
櫓基礎
第4堅坑



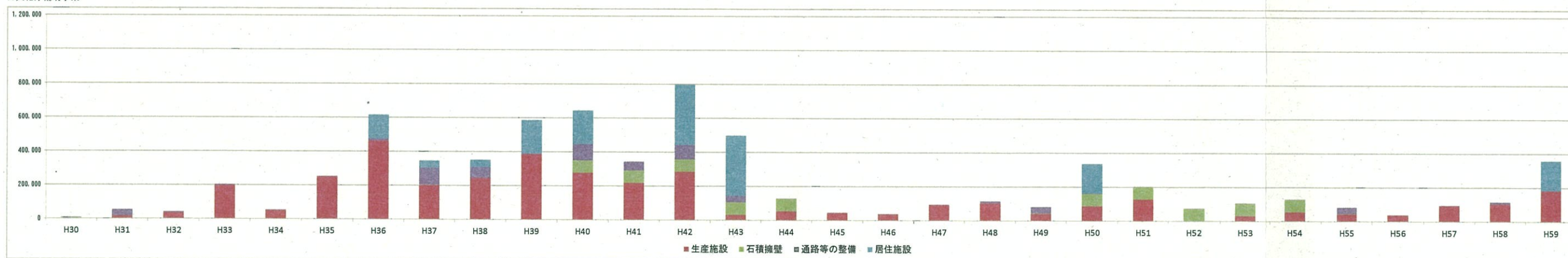
世界遺産保存整備事業 端島炭坑 整備事業費 平成30年度～平成39年度

単位:千円

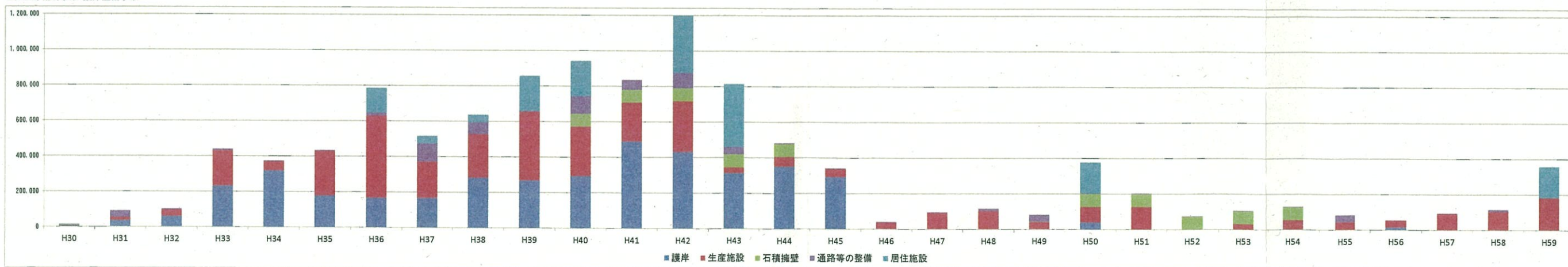
	第Ⅰ段階										第Ⅱ段階										第Ⅲ段階										合計
	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H59	
生産施設	0	16,300	36,100	197,909	51,600	250,342	462,375	202,371	245,249	386,229	277,119	218,297	285,010	31,400	54,500	43,700	36,800	92,700	103,600	42,600	87,800	128,100	0	31,400	54,500	43,700	36,800	92,700	103,600	182,300	3,795,101
石積擁壁	6,000	0	0	0	0	0	0	2,000	0	0	72,400	72,400	72,400	74,400	72,400	0	0	0	0	2,000	72,400	72,400	72,400	72,400	72,400	1,500	0	0	0	0	737,500
通路等の整備	1,400	37,400	5,400	5,391	1,400	1,358	12,825	98,529	63,651	1,310	96,320	52,903	84,312	37,321	1,400	1,400	1,400	1,400	11,400	37,400	1,400	1,400	1,400	1,400	1,400	37,400	1,400	1,400	11,400	1,400	613,920
居住施設	0	0	0	0	0	0	139,400	42,900	42,300	197,661	197,661	0	354,178	354,179	0	0	0	0	0	0	173,800	0	0	0	0	0	0	0	0	173,800	1,675,879
小計	7,400	53,700	41,500	203,300	53,000	251,700	614,600	345,800	351,200	585,200	643,500	343,600	795,900	497,300	128,300	45,100	38,200	94,100	115,000	82,000	335,400	201,900	73,800	105,200	128,300	82,600	38,200	94,100	115,000	357,500	6,822,400
段階別小計	2,507,400 (36.8%)										2,783,000 (40.8%)										1,532,000 (22.4%)										6,822,400 (100%)
護岸	5,000	36,800	60,700	235,400	321,300	182,400	170,800	171,100	285,500	271,400	297,900	492,600	435,100	316,700	354,100	296,400	3,000	1,000	1,000	1,000	41,700	1,000	1,000	1,000	1,000	0	16,300	0	0	0	4,001,200
合計	12,400	90,500	102,200	438,700	374,300	434,100	785,400	516,900	636,700	856,600	941,400	836,200	1,231,000	814,000	482,400	341,500	41,200	95,100	116,000	83,000	377,100	202,900	74,800	106,200	129,300	82,600	54,500	94,100	115,000	357,500	10,823,600
段階別合計	4,247,800										4,981,800										1,594,000										10,823,600

財源内訳	国費(文化庁)	県費	地方債	一財	H30	H31	H32	H33	H34	H35	H36	H37	H38	H39	H40	H41	H42	H43	H44	H45	H46	H47	H48	H49	H50	H51	H52	H53	H54	H55	H56	H57	H58	H59	合計
国費(文化庁)	3,000	25,700	18,250	99,154	26,000	125,371	304,837	170,435	175,124	292,145	321,290	171,348	397,494	248,189	63,650	22,050	18,600	46,550	57,000	40,500	167,200	100,450	36,400	52,100	63,650	40,800	18,600	46,550	57,000	178,250	3,387,687				
県費	1,200	10,280	7,300	39,661	10,400	50,148	121,935	68,174	70,049	116,858	128,516	68,539	158,997	99,275	25,460	8,820	7,440	18,620	22,800	16,200	66,880	40,180	14,560	20,840	25,460	16,320	7,440	18,620	22,800	71,300	1,355,072				
地方債	3,200	17,700	15,900	48,300	12,400	57,100	140,700	80,200	79,500	132,000	145,100	77,700	179,400	112,200	29,300	10,600	9,000	21,600	26,300	18,900	75,900	45,900	17,000	24,100	29,300	19,000	9,000	21,600	26,300	80,900	1,566,100				
一財	0	20	50	16,185	4,200	19,081	47,128	26,991	26,527	44,197	48,594	26,013	60,009	37,636	9,890	3,630	3,160	7,330	8,900	6,400	25,420	15,370	5,840	8,160	9,890	6,480	3,160	7,330	8,900	27,050	513,541				

★文化庁補助事業



★文化庁補助事業+護岸整備事業



予 算 説 明 書					事 業 名	予算額
ページ	款	項	目	番号		
136 ～ 137	2 総務費	1 総務管理費	22 世界遺産 推進費	4-1	【単独】世界遺産保存整備事業費 「明治日本の産業革命遺産」	千円 56,000

1 概要

「明治日本の産業革命遺産 製鉄・製鋼、造船、石炭産業」の構成資産の1つである高島炭鉱北溪井坑跡の周辺環境を改善するための整備を実施する。

2 事業内容

高島炭鉱北溪井坑跡周辺環境整備工事 56,000 千円

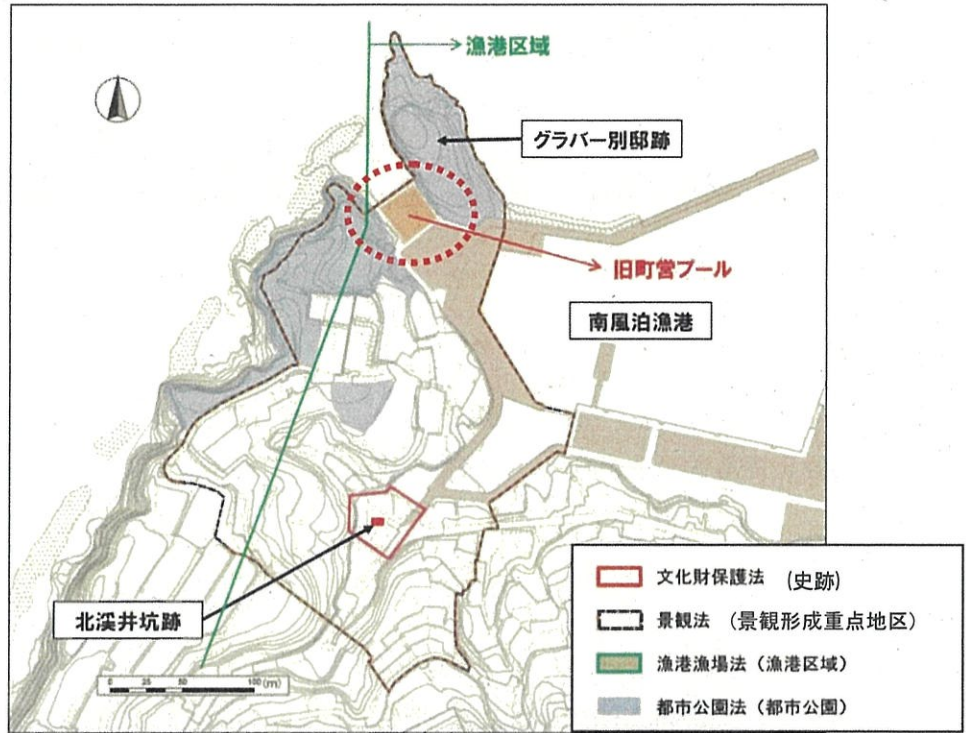
- ・高島炭鉱北溪井坑跡の周辺環境を改善するため、緩衝地帯（バッファゾーン）内にある旧高島町営プール解体後の跡地を公園として整備するとともに、周辺にバスの回転場や駐車場等を整備する。
- ・公園整備：芝張り、松の植樹、整備面積：948.54 m²
- ・駐車場3台、駐輪場5台

3 財源内訳

事業費	財 源 内 訳				
	国庫支出金	県支出金	地方債※	その他	一般財源
千円 56,000	千円 —	千円 —	千円 56,000	千円 —	千円 —

※辺地対策事業債 充当率 100%

高島炭鉱北溪井坑跡周辺環境整備工事 位置図



① 現況



② 跡地整備のイメージ

